

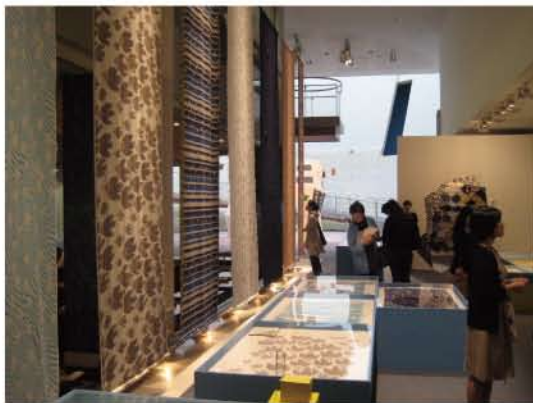
ミナ ペルホネン「進行中」

日時 2010年9月28日(火)～10月20日(水)
 場所 東京 青山 スパイラルガーデン
 主催 「ミナ ペルホネン 進行中」実行委員会



ブランド設立15周年を迎えたファッションブランド「ミナ ペルホネン」の、ものづくりの過程とデザインへの姿勢を表した展覧会「進行中」。このタイトルは、100年以上続くブランドを目指し活動続けるチームの、たゆまず進む継続を表したものだ。

この展覧会の特長はミナ ペルホネンの服がどうやって作られて行くかがわかりやすく知る事ができ、特に図案から生地になるまでの過程が興味をそそる。生地にはたいへんこだわりがあり、最初に値段ありきがあたりまえのデザイナーが多い中、これほど生地を追求するデザイナーは数が少ないだろう。いままで制作した布を壁面に並べたコーナーは圧巻でいつまでも見ていたい気持ちになる。生地に携わる方ならよくわかるが、強いこだわりが感じられ、普通こころまではしないとされる布がほとんどだ。



その大切に育てた生地のみを使ったリメイクの販売店「ミナ ペルホネン ピース」が最近オープンしたそうだ。またこれまでのアーカイブを見せる場所として「ミナ ペルホネン アルキストット」もできたらいい。

会場には作品の説明文がかかれた黄色のメモがあり、だれでも持ち帰ることができる。またところどころに置かれたマネキンのウィッグはヘアメイクデザイナーが手掛けた、シーチングの布でできていてとても愛らしい。

デザイナーの図案制作や工場での生地製作の動画も見ることが出来る。

ファストファッションとは、全く別のもので作られた服のよさはクリエイター達には刺激をあたえるだろうし、一般の人や、特にファッションを目指す多くの学生に見てほしい展覧会だった。

記：豊方

